



通じて、自社オリジナルのIPだけではなく、他社の人気IPを活用したゲームタイトルの開発や運用を多数行ってきた実績があり、ユーザーのIPに対する愛や熱量を熟知している。その知見を生かし、「推し活×ブロックチェーン技術×デジタルコンテンツ」でのサービスを展開しているわけだが、2024年3月にリリースされたOSHI3における第1弾コンテンツである「ファントム オブ キル―オルタナティブ・イミテーション―」というキャラクター育成ゲームは、リリース時にAppStore及びGoogle Play Storeのいずれも、ダウンロードランキング1位を獲得し、日本のブロックチェーンゲームとしてトップクラスの実績を築くなど、手応えのある市場か

らの反応を得られた。そして、日本向けコンテンツでありながら、グローバルにおいても一定の注目を集める契機ともなった（図6）。

そして、OSHI3では、有力企業とアライアンスを組み、ゲーム以外のコンテンツについてもパートナー企業から提供を受ける予定であり、一層の発展を目指しているところである。

こうした日本のゲーム、アニメ、アイドルに代表される推し活関連のコンテンツを複数提供し、それが起爆剤となって、web3におけるマスアダプションにつながることを期待したい。



■図6

受賞速報

ITU-T局長 尾上誠蔵氏が2025 IEEE Jagadish Chandra Bose Medal in Wireless Communicationsを受賞

国際電気通信連合（ITU）電気通信標準化局長の尾上誠蔵氏がIEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）の2025 IEEE Jagadish Chandra Bose Medal in Wireless Communicationsを受賞されました。本賞は2025年から新設され、世界的に大きな影響を与えた無線通信技術に貢献した

人物に授与される賞で、尾上氏は記念すべき1人目の受賞者となります。受賞理由に当たる業績は、携帯電話システムの第3世代（3G）及び第4世代（4G）の研究開発及び国際標準化を世界的に主導し、世界的な普及に貢献した功労が認められたものです。